



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

『あなたがたにぜひ会いたいのは、
“霊”の賜物をいくらかでも分け
与えて、力になりたいからです』

聖書(ローマ書 1章 11節)

牧師 河合裕志

パウロはローマの信徒に会いたがっている。なんでそんなに会いたい？それはぜひ力になりたいので。力になる、どうやって。何か経済的援助でもしようというの？どうもそういうことではないよう。

“霊”の賜物をいくらかでも分け与えて、聖霊とは復活したイエスの霊のこと。今イエスは栄光の体となって天の父なる神の右に居る。そしてまたイエスは聖霊として信じる者と共に居る。

この聖霊は肉眼には見えない。風のように、息のように。信じる者の部屋を訪れる。心に宿る。そしていろんな賜物をもたらしてくれる。賜物、元のギリシャ語でカリスマ。神から賜った才能のこと。聖霊から、イエスから賜ったと言っても同じこと。

具体的にはどんなものがあげられる？パウロがコリント前書 12章であげているところによれば…イエスは「主」であると言える、知恵の言葉、知識の言葉、信仰、病気をいやす力、奇跡を行う力、預言する力～。

なかなかバラエティーに富んでいる。一人の人がこの全部を頂くのではなく A さ

んにはこれ、B さんにはこれといった具合。ただイエスは主であると言えるとか信仰は共通している。イエスは主とはイエスはわが救い主と信じられる、ということ。2千年前に生き死んだイエスが実は私の救い主なんだと認められる、これは聖霊によらなければ不可能なこと。

個別には優れた知恵者、知識の保有者、病気をいやす者～これは今日で言えば医師ということに。医師は学問・技能を積んで国家試験に合格すればなれるけど、そこには神から与えられた才能がなければ難しい。この他にもカリスマシェフとかカリスマ美容師とか様々あげられそう。ただ他の人と比べて特別に優秀ということではなくても神は人それぞれに何らかの賜物を与えていることは覚えていたいもの。

ところでパウロはローマの信徒の力になりたいと言った。パウロは先程あげた賜物の全てに恵まれていた稀有な人。全てに突出。そのいくらかでも分け与えたいとはパウロなら言えること。ただ誰も多少のものは与えられている筈なのでそれをもって人様の力に少しでも役立てれば幸い。

集会案内

日曜礼拝：午前 10 時 15 分、日曜夕拝：午後 6 時

子どもの教会：日曜日午前 9 時

求道者会：日曜日午前 9 時 40 分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後 1 時～7 時

お祈り会：水曜日午前 6 時、午前 10 時、午後 7 時